



# 余養だよい

令和6年7月26日  
第2号(194通巻号)  
北海道余市養護学校発行

## 魅力あふれる余市養護学校の創造に向けて

副校長 安達 雅美

4月の入学式から早いもので1学期の終業式を迎えます。7月になり、余市町は北海道でも暑さが厳しいため心配していますが、ようやく教室の窓枠に簡易ですがエアコンが設置され少しほっとしています。

さて、魅力あふれる余市養護学校の創造に向けて、本校の今年度の学校経営計画の重点は、①ICTの利活用の推進、②地域との連携、③働き方改革、④安心・安全な学校、⑤センター的機能の充実、⑥服務規律の保持としています。

中でも、①ICTの利活用については、本校の研究テーマとし、今年度から2年間をかけて推進する計画であります。校内では、様々な学習場面でタブレット端末を用いている様子が見られます。子どもたちは、驚くほどタブレット端末等デジタル機器への馴染みが早く、授業では、描画や加工のほか、カメラでの撮影からスクリーンショットをしてから加工や、アプリでの教科等の学習、コミュニケーションの代替手段としての活用、日常生活の指導場面では、歯磨きや身支度など、Googleformsでアンケートの作成・集約、Jamboardで友達との意見交換や情報共有、GarageBandで友達とセッションなどを行っています。先生たちは、言葉を視覚化する場面が多いので、授業中も片手にタブレット端末を持ちながら授業をすすめたり、音や画像を駆使し印象的な課題を作成したり、授業で良かった様子や気になった指導を記録し、子どもたちとの振り返りをしたりなどに活用しています。

ICTの利活用は、全ての学習がデジタル化することがねらいではなく、子どもたちが将来に必要な力を身に付けるための一つの文房具だと考えています。我々が子どもたちの得手や不得手を捉え、心情を汲み取りつつ実際的で体験的な学習を心も身体も使って積み重ねていく姿勢は、これから先も変わりありません。

また、今年度より、働き方の見直しとして授業時間を1時間減らすことに御理解と御協力を得たことで、職員は、時間を惜しみながら明日にも使える指導をと毎回工夫をしながら研修をしております。引き続き、業務従事時間の確保やICT環境の整備のため、ペーパーレス化等の校務のデジタル化や行事の準備の簡素化、時間外勤務の見直しなどをすすめる予定であります。

こうした学校経営計画の重点の達成に向けて、保護者の皆様や福祉事業所の方々、地域の皆様にも御理解と御協力をお願いすることがありますので、その際は、何卒よろしく願います。

### 小学部 運動会 低学年ブロック

毎日刻々と変わる天気予報にやきもきしましたが、当日は、日差し、風ともに絶好の運動会日和となりました。今年度は、低・高合わせた小学部全体での運動会を実施し、児童の司会による開会式に始まり、全学年による準備体操、徒競走と続けました。小1～3年は20m～40mを、それぞれの力を発揮して走り抜き、全員ゴールに向かうことができました。団体競技では「余市オリンピック2024」と題して、玉入れやまたぎ棒、巧技台などを次々に攻略し、1年生は、初めての運動会を頑張りました。2年生は、大谷グローブやペットボトル打ちの二刀流で取り組み、3年生は、さらに2周目にペアで相手と力を合わせる場面と、それぞれの見せ場が光りました。成績発表や開閉会式では、代表がそれぞれ立派に旗を立てたり、カップを受け取ったりしました。



どの児童も最後まで取り組むことができた運動会でした。 担当：倉岡

### 小学部 運動会 高学年ブロック

高学年ブロックの児童は、運動会の中で全員が一人一役割を担いました。本番では、開会式の司会や準備体操の手本から始まり、最後のお礼の言葉まで、練習してきた成果をそれぞれ発揮することができました。徒競走では、20mから80mの距離をゴール目指して一生懸命走りました。表現「アンダーザシー」では、海を泳ぐ動きやポーズを決めるところなど、紅白のポンポンを振りながらみんなで楽しく踊ることができました。団体種目「サーキット玉入れ」では、一つ一つ投げる人、たくさん集めてから投げる人、よく狙って投げる人、玉入れの仕方にも個性があり、かごに玉が入るたびに大盛り上がりでした。一人一人の活躍が光る笑顔いっぱいの運動会となりました。 担当：寺谷



## 中学部 体育大会

6月7日（金）に体育大会が行われました。競技内容は個人種目「短距離走」「よっちょれ」、団体種目「サイコロリレー」の3種目です。また、生徒全員が自分の役割を担当し取り組みました。「短距離走」では、自己ベストタイムの更新を目指して、全力で走りました。中学部の名物になりつつある『よっちょれ』は、ソーラン節に人気のBling-Bong-Bang-Born（ブリンバンバンボン）を入れたオリジナル曲の振り付けで踊りました。勇ましく太鼓を叩き、旗をはためかせ、元気な掛け声で披露しました。団体種目「サイコロリレー」では、赤、青、黄色の3チームに分かれて、サイコロを振り、出た目によってミッションをクリアし、リレーをしました。天候に恵まれ、保護者の方や地域、関係機関の方々の応援の中、生徒一人ひとりが自分の力を精一杯発揮し、無事に終えることができました。

（担当：西村）



## 高等部 3学年 見学旅行

5月29日（水）～31日（金）の2泊3日、東京・千葉方面へ見学旅行に行ってきました。1日目に見学した日本科学未来館では、にある巨大なLEDパネルを使った地球ディスプレイ‘ジオ・コスモス’を見上げ、「うわあ〜！」と驚きの声から始まり、それぞれが最新のロボットに触れたり、展示を見たりして、未来の地球について考えるきっかけとなった有意義な時間となりました。2日目の東京ディズニーランドでは、クラスで事前に立てた計画をもとに、アトラクションや食べ歩き、お土産の購入、キャラクターとの記念撮影など、目一杯楽しむことができました。事後学習では、各場所での思い出を振り返り、「また行きたい!」「行く前は不安だったけど、楽しかった!」などと感想をまとめたり、印象に残っている写真を指差したりして、生徒の皆さんは思い思いに発表していました。見学旅行を機会に、身の回りのことに自分で取り組む力や、公共交通機関の利用や買い物、荷物整理など、今後の生活にも生かしていけることを期待しています。

（担当：村松）



### 訪問教育学級 みどりの里体育交流会

6月11,13,14日の3日間、みどりの里で体育交流会を行いました。ここ数年の競技は「eスポーツ幅跳び」でしたが、今年度は「シュート！」のテーマの下、それぞれが学習の中で取り組んできたことを発表しました。Meetで発表のお友達もいましたが、リハビリホールをお借りして実施することができ、ABC各病棟の選手がお互いの姿を見て、応援、力を発揮し、たたえ合う会となりました。みどりの里職員の方々にも応援して頂くことができ、今後も感染症対策をしながら、さらにいろいろな可能性の広がりを感じられる体育交流会となりました。

担当：宇坪



### 寄宿舍生活の様子

令和6年度、寄宿舍は小学部1名、中学部1名、高等部8名の10名でスタートしました。寄宿舍生活では、集団生活を通して仲間と協力して生活を楽しみ、自分でできることを増やせるように、日々、日課や活動に取り組んでいます。新たに入舎した仲間にも部屋の掃除の仕方や次に何をやるかを優しく教えたり、余暇時には一緒に体育館で遊んだり仲間意識をもって生活する姿がとても微笑ましいです。今年度も余市町の地域資源を活用し、寄宿舍生活で地域との関わりを通し、余暇の充実や将来の生活に向けた取り組みが始まりました。地域への買い物や外出、さらには舎生が地域の魅力ある場所をリサーチし、実際に行ってみるなど主体的に活動をしています。

担当：高木



～余市養護学校「いじめ認知」状況のお知らせ～

令和6年4月～令和6年7月 本校におけるいじめの認知はありません。

生活指導主事